

【医療機能】

⑭前立腺がんにおける腹腔鏡下手術（ダヴィンチ手術）の割合

【計測対象】

分子：腹腔鏡下手術件数（ダヴィンチを用いた手術）

分母：腹腔鏡下手術+開腹手術件数

【解説】

腹腔鏡下手術は開腹術と比べて非常に小さな創で済み、痛みが少なく、患者の早期回復が期待できます。泌尿器科では前立腺がん、腎がんなどの特に早期がんにおいて従来の開腹手術にかわり腹腔鏡下手術が一般的な手術療法になっています。

また、より精緻な手術を目指し、手術支援ロボット「ダヴィンチ」による手術を2021年度より開始しております。

